

平成17年度事業活動報告

〔平成17年4月 1日から〕
〔平成18年3月31日まで〕

日本数学協会

1. 会 員 (平成18年3月31日現在)

- ・正会員 910
- ・賛助会員 12 (15口)

2. 役 員 (任期:平成17年4月1日～平成19年3月31日)

*役職ごとに五十音順・敬称略

- ・会 長 上野 健爾 (京都大学)
- ・副会長 岡部 恒治 (埼玉大学)、岡本 和夫 (東京大学)
田村 一夫 (田村教育総合学院)、八文字 敏宏 ((学) 八文字学園)
- ・幹 事 新井 紀子 (国立情報学研究所)、有田 八州穂 (多摩市立多摩第二小学校)、
亀井 哲治郎 (亀書房)、河野 貴美子 (日本医科大学)、
草柳 康子 (横浜創英高等学校)、黒木 哲徳 (福井大学)、
中島 利郎 (中央情報経理専門学校)、藤井 将男 (大東文化大学)、
逸見 由紀子 (東京都立西高等学校)、吉田 松雄 ((学) 吉田学園)
- ・理 事 赤荻 進一 (東京都立国分寺高等学校)、天岩 静子 (信州大学)、
植田 隆巳 (大阪府立大手前高等学校)、
岡本 龍明 (NTT情報流通プラットフォーム研究所)
小川 東 (四日市大学)、蟹江 幸博 (三重大学)、川島 隆太 (東北大学)
木戸 哲也 (大阪府立盾津高等学校)、公庄 庸三 (数学教育研究所)
佐藤 健一 (日本数学史学会)、澤口 俊之 (北海道大学)
柴原 英雄 (元数学教師)、菅原 邦雄 (大阪教育大学)
高田 加代子 (数学教師)、谷 克彦 (リコー中央研究所)、
仲里 真 (神奈川県教育委員会)、
中村 文則 (札幌旭丘高等学校)、西村 和雄 (京都大学)、
西山 豊 (大阪経済大学)、根上 生也 (横浜国立大学)、
野崎 昭弘 (大妻女子大学)、深川 英俊 (名城大学)
藤本 トモエ (トモエ算盤(株))、細谷 秋男 ((学) 細谷学園)
堀野 晃 (江原速算研究塾)、真島 秀行 (お茶の水女子大学)、
横山 千恵子 (色彩コーディネーター)
- ・監 事 後藤 一呂志 (墨田珠算学院)、武田 紀久雄 (公認会計士)
坪内 孝満 ((学) 坪内学園)

3. 委 員

<編集委員会>

- ・委員長 岡部 恒治 (埼玉大学)
- ・委 員 赤荻 進一 (東京都立国分寺高等学校)、新井 紀子 (国立情報学研究所)、
有田 八州穂 (多摩市立多摩第二小学校)、上野 健爾 (京都大学)、
岡本 和夫 (東京大学)、亀井 哲治郎 (亀書房)、河野 貴美子 (日本医科大学)、
野崎 昭弘 (大妻女子大学)、藤井 将男 (大東文化大学)、
逸見 由紀子 (東京都立西高等学校)、堀野 晃 (江原速算研究塾)

4. 事業

(1) 会議

①第4回総会

- ・日時 平成17年5月15日(日) 14:00~14:45
- ・場所 東京大学数理科学研究科棟大講義室
- ・出席者数 199人(うち委任状168人)
- ・議題 (1) 平成16年度事業活動報告(案)・同収支決算(案)について
(2) 平成17年度事業活動計画(案)・同収支決算(案)について
(3) その他

②理事会

回数・日時	場所	出席者数 (人)	議題
第3回 5月15日(日) 13:00~13:45	東京大学数理 科学研究科会 議室	21	(1) 平成16年度事業活動報告 (案)・同収支決算(案)について (2) 平成17年度事業活動計画 (案)・同収支決算(案)について

③幹事会

回数・日時	場所	出席者数 (人)	議題
第11回 4月24日(日) 13:10~16:05	埼玉大学東京 ステーション カレッジ	9	(1) 平成16年度事業活動報告 (案)・同収支決算(案)について (2) 平成17年度事業活動計画 (案)・同収支予算(案)について (3) 今後の事業および進め方につ いて (4) ホームページについて (5) その他
第12回 7月3日(日) 13:00~16:00	埼玉大学東京 ステーション カレッジ	8	(1) 第3回年次大会について (2) 数学文化公開講演会について (3) 機関誌「数学文化」、別冊「数 学文化」について (4) 会報について (5) 新しい分科会について (6) その他
第13回 10月16日(日) 13:00~15:55	埼玉大学東京 ステーション カレッジ	8	(1) 今後の事業および進め方に ついて (2) 機関誌「数学文化」、論文集に ついて (3) 会報について (4) その他
第14回 1月29日(日) 13:00~16:05	埼玉大学東京 ステーション カレッジ	9	(1) 大阪教育大の数理科学フォー ラムへの後援について (2) 映画「博士の愛した数式」の 特別推薦について

			(3) 機関誌 (数学文化、別冊) ・ 会報・ホームページについて (4) 福井講演会・支部の活動について (5) 数学月間・某機関との連携について (6) 次年度の活動について (7) 次々年度の役員について (8) 会員の増強策について (9) 計算能力検定について (10) その他
--	--	--	--

④監事会

回数・日時	場 所	出席者数 (人)	議 題
第3回 5月10日 (月) 15:00~17:00	日商特別会議 室 (東京商工 会議所ビル6 階)	2	(1) 平成17年度事業活動報告 (案) について (2) 平成17年度収支決算 (案) について (3) その他

⑤編集委員会

回数・日時	場 所	出席者数 (人)	議 題
第6回 5月15日 (日) 16:30~17:30	埼玉大学東京 ステーション カレッジ	10	(1) 機関誌「数学文化」、別冊「数 学文化」について (2) 会報について (3) その他

(2) 数学文化公開講演会

(敬称略)

日 時	場 所	出席者数 (人)	テーマ・講演者
5月15日 (日) 14:40~16:00	東京大学数理 科学研究科会 議室	30	「本当の計算力とはなにか」 会長 上野 健爾 幹事 有田 八州穂
6月 5日 (日) 13:30~16:20	くまもと県民 交流館パレア	25	「復権 これからの数学教育」 会長 上野 健爾
11月 5日 (土) 13:10~16:30	福井大学教育 地域科学部	80	「算数・数学力をつけるには」 会長 上野 健爾 「数学の思考力と計算能力検定試験 のねらい」 副会長 岡部 恒治

(3) 数楽講座

(敬称略)

日 時	場 所	出席者数 (人)	内 容
6月19日(日) 13:00~15:10	埼玉大学東京 ステーション カレッジ	15	「折り紙で風車と三角定規を作る」 会員 染谷 淳一郎 「裏返しパズルとその数理」 副会長 岡部 恒治
8月28日(日) 12:50~15:00	東京大学数理 科学研究科 大講義室	合計 110	「そろばんで立方根を」 会員 益田 明・西川 善彰 「のりを使わず立体を作る」 理事 蟹江 幸博

(4) 第3回年次大会

- ・日 時 8月27日(土)~28日(日)
- ・場 所 東京大学数理科学研究科棟大講義室
- ・参加者数 150人(2日間の延べ人数)

<内 容>

- 開会挨拶 日本数学協会 会長 上野健爾
- 特別講演「教育的立場から見た数楽」 日本数学協会 幹事 黒木哲徳
- 暗算実演 金子優希
- パネルディスカッション・座談会 「暗算について」
司会：岡本和夫
パネラー：益田明、西川善彰、上野健爾、河野貴美子、有田八州穂
- 分科会ごとの意見交換
- 一般講演
 - ・「餅を切って大きな正方形にする」 岡部恒治 (数楽分科会)
 - ・「企業の人材評価」 西村和雄・浦坂純子 (数学活用分科会)
 - ・「ゆとり教育と人材」 西村和雄・浦坂純子 (数学活用分科会)
 - ・「算数の検定外教科書」 有田八州穂 (数楽分科会)
 - ・「「大人の九九」の練習問題」 橋本篤行・佐藤和子 (数学活用分科会)
 - ・「ハンガリーのSZOROBANー考える教具として算教授業に活用ー」 鈴木巖 (珠算・和算)
 - ・「算額の問題からの展開」 染谷淳一郎 (数楽分科会)
 - ・「臨界線上のゼータ関数のにより生成される音の特性について」 武捨貴昭 (数学・数学関連領域研究分科会)
- ヤング・セッション
 - ・「底の異なる記数法で表せるものの種類について」 植野和
 - ・「代数的無限に関する一考察」 南村典彦 (数楽分科会)
- 閉会挨拶 日本数学協会 副会長 田村一夫

- (5) 分科会活動等を通じた会員相互の交流促進
- ・新たに「算数・数学教育分科会」を創設し、6月19日に埼玉大学東京ステーションカレッジにおいて「数楽講座」(実習会)、また8月28日に東京大学数理科学研究科において、実習会「そろばんで立方根を」と「のりを使わずに立体を作る」を開催した(上記(3)ご参照)。
 - ・福島支部を発足し、8月10日、11日に高校生を対象とした学習会「安達太良高原セミナー」を開催した。また、平成18年1月7日、8日には、第2回安達太良高原セミナーを開催した。
 - ・近畿支部設立準備会を4回開催した後、9月25日に結成大会を開催し発足した。2月5日には、近畿支部数学講演会を開催した(19名参加)。
- (6) 機関誌「数学文化」、別冊「数学文化」の編集・発行
- ・機関誌「数学文化」第4号を5月20日に2,000部、第5号を12月25日に2,100部を発行し、全会員に送付するとともに、全国の主要書店で販売した。特集は、第4号は「和算の贈り物」、第5号は、「ほんとうの計算力とは?」とした。
 - ・第5号の発行に向け、座談会「ほんとうの計算力とは?」を開催した。
 - ・論文集「別冊 数学文化」を、11月に1,100部発行し、全会員に送付するとともに、国立10大学の数学教室へ寄贈した。
- (7) 会報の編集・発行
- ・第10号を6月30日に発行した(1,000部)。
 - ・第11号を7月20日に発行した(2,000部:年次大会、数学月間のイベントの際に配布した)。
 - ・第12号を12月20日に発行した(1,100部)。
- (8) ホームページのコンテンツの充実
- ・幹事の新井紀子氏によりホームページのリニューアルを行った。このリニューアルに伴い、会員専用掲示板に記事が投稿されると、その内容がEメールアドレスを登録した会員に対して、自動的にEメールで配信されるサービスを開始した。サーバーも横浜国立大学から国立情報学研究所に移管した。
- (9) 共催事業・後援等
- ・7月24日に姫路商工会議所において日本珠算連盟主催で開催された「あんざんグランプリ2005」を後援した。
 - ・10月2日に賛助会員の稲田塾主催で開催された「マスフェスティバル2005」を後援した。当協会からは、上野健爾会長、岡部恒治副会長、有田八州穂幹事、蟹江幸博理事、谷克彦理事、深川英俊理事、事務局の長谷川愛美の7名が講師として参加した。
 - ・小川洋子氏原作の映画「博士の愛した数式」(1月21日から公開)を特別推薦した。
 - ・1月11日に大阪教育大学主催で開催された「数理科学フォーラム」を後援した。同フォーラムには、小川洋子氏(作家)のほか、当協会からは岡部恒治副会長、菅原邦雄理事が参加し、座談会を行った。
 - ・昨年度に引き続き、日本商工会議所主催の計算能力検定試験を後援し、東京と福井で公開講演会をした(上記参照)。また、ホームページに計算能力検定試験のコーナーを設けた。
- (10) 数学月間事業の推進
- ・7月22日から8月22日を数学月間と制定し、月間内(あるいはその前後)に実施される数学的な行事を募集し、参加の呼びかけを行った。平成17年度は9つの行事が開催された。また、18年3月には有志により「数学月間の会」が発足した。